

平成28年度

公益財団法人新宿未来創造財団 第2回理事会

議事録（議論内容）

※参考資料

平成28年11月14日

○永木理事長 それでは、ただいまから平成28年度第2回公益財団法人新宿未来創造財団理事会を開催いたします。

これより議事に入ります。

まず、議案第8号、「平成28年度公益財団法人新宿未来創造財団第2回評議員会の招集について」を議題に供させていただきます。

事務局の説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○永木理事長 それでは、議案第8号について、ご意見等がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、第8号議案についてご意見がなければ質疑を終了させていただきます、原案どおり決定するということでご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○永木理事長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第8号は原案のとおり決定いたします。

次に、議案第9号、「公益財団法人新宿未来創造財団評議員選定委員会外部委員の選任及び公益財団法人新宿未来創造財団評議員選定委員会委員の承認について」を議題に供させていただきます。

事務局の説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○永木理事長 それでは、議案第9号について、ご意見等がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、第9号議案についてご意見がなければ質疑を終了させていただきます、原案どおり決定するということでご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○永木理事長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第9号は原案のとおり決定いたします。

続きまして、議案第10号、「公益財団法人新宿未来創造財団評議員候補者の推薦について」を議題に供させていただきます。

事務局の説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○永木理事長 それでは、議案第10号について、ご意見等がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、第10号議案についてご意見がなければ質疑を終了させていただきます。原案どおり決定するということでご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○永木理事長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第10号は原案のとおり決定いたします。

続きまして、議案第11号、「平成28年度上半期事業執行状況及び資金運用業務状況報告について」を議題に供させていただきます。

事務局の説明をお願いします。

(資料に基づく説明省略)

○永木理事長 それでは、議案第11号について、ご意見等がございましたらお願いします。

○酒井理事 事業そのものというよりも、パイプオルガンの活用事業でパイプオルガンの将来構想や将来像をどのようにお考えになっているのかお聞かせいただきたい。

○諏訪管理担当事務局次長　パイプオルガンのあり方につきましては、現在、区に審議をいただいている最中です。今後の方向性が確実に定まっている状況ではありませんが指定管理者として、施設をいかに活用させていくかということで頑張っているところで、12月にはパイプオルガンのコンサートを実施する予定です。その間、お子様や大人の方に弾いていただくという講座も年2回ほど実施しております。

ご参加頂いた方には大変評判が良いのですが、なかなかたくさんのお客様を集めるには至っていないというのが現状です。今後お客様を集めるために努力をしていきたいと考えています。

○酒井理事　財団としては、ぜひとも残したいとか、残したくないとかはなく、区にお任せをしている。こういうことでよろしいですか。

○諏訪管理担当事務局次長　私どもとしては、パイプオルガンがある以上は有効に活用したいと思っています。ただ、やはり非常に経費がかかるので、財団として全ての経費を出すということは大変難しいところです。そのあたりは区と調整をしながら、詰めていきたいと考えています。

○永木理事長　いずれにしても、設置してから相当年数が経っているということとフランス製のため部品の関係などいろいろ課題もあります。更新するとなれば1億、2億というような費用となるため、区とよく相談をして、現状はしっかり管理を行っていくという状況でございます。

○清水理事　実績を見ますと、概ね良い実績でたくさんの方が利用しているということがわかりますが、1つだけ歌舞伎公演が達成率60%を割っていて、これはどうしてこんなにいい企画なのに、来場者が少なかったのかお伺いします。また今後、何か来場者に多く来ていただくための工夫などお考えでしょうか。

○八木原文化・学習課長　おっしゃるとおり、確かに非常に残念な成績に終わりましたが、私どもは、お客様に公演の都度、毎回アンケートを実施しております、そのア

アンケートの中でいろいろなご要望がございました。そのご要望すべてに応えるわけにはいかないので、何年かおきに演目を変えながら実施をしています。歌舞伎につきましても根強い声があり、また私どももこれからオリンピック・パラリンピックの実施に向けて、国内でも伝統文化をきちっと紹介をしていく、大切にしていこうという趣旨で、今回、歌舞伎をやらせていただいた次第です。

歌舞伎につきましては、本当に久しぶりにやらせていただきました。大田区や練馬区のように歌舞伎を例年企画している館は、比較的客人がずっとついているため集客は見込めますが、新宿文化センターでは久しぶりの公演であったため私どもは今回広報に大変力を入れました。区の高齢者クラブの会長会にも、2度ほど足を運びご案内をさせていただくなど、通常の公演以上に宣伝活動には力を注いでまいりました。

またご来場いただいた方の満足度は高く、現在アンケートの集計中ですが、暫定値で5ポイント中4.7ポイント以上の満足値を得ています。

この先もこのような難しい公演についても、我々は文化を提供していく側の使命として、企画を続けていきたいと考えています。

○小柳常務理事（事務局長） もう1点申し上げたいのは、この松竹大歌舞伎は7、8年前にやめるまで、かなり大入りだった状況がございました。そういう中で私どもが今、副都心線も開通し交通の便がよくなり、新宿区民以外の方もいろいろご利用いただける状況になりました。それと同時に、地域にもしっかりと文化センターでいろいろな催し物を行っているということを周知して、またご利用いただきたい、そういう戦略もありました。2回公演というのはかなり厳しいなというのは当初から予想がついていましたが、やはり高齢者クラブ等をはじめ、一生懸命に地域の団体に売り込んだりし、本当に地域の方々にこの文化センターを見てもらいたい、そういう1つの戦略として、あえて企画したところもあります。

結果としては大変残念でございますが、今後も地域の方々にとって、文化センターはこういうこともやってくれているんだということをご理解いただけるような企画を立てていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○武井理事 私はこの歌舞伎を、お昼の部を見させていただきました。本当に素晴らしい公演ですけれども、やはり残念なことに、お客様が少なかったです。そのときに思い

ましたが、ウィークデーのお昼の公演なので、何か若い人たち、例えば高校とか大学で特に古典芸能について関心を持っている学校の生徒さんを対象にもう少し安い料金でチケットを提供したり、招待券を出したりすれば席もいっぱいになるのではないかという気持ちがありましたので、また何かアイデアを出していただいて、ぜひお願いしたいなと思います。

○八木原文化・学習課長　今回は学生割引の席を久しぶりに設け、そのような方々にもこの先、積極的に呼びかけてまいりたいと考えております。

○酒井理事　この公演の夜の部は、森の薪能と同じ日だったと思いますが、お互いに区でやっていて、日が重なるのは何か残念だなと思います。相手先があることで調整は難しいと思いますが、うまく調整できるといいですね。

○諏訪管理担当事務局次長　ご指摘のとおりで、それは大変自覚しているところです。ただし今回は松竹との交渉もあり、この日程しかないというような状況でした。

先ほど、局長からも申しあげましたように、歌舞伎も含めてもっと地域の皆さんに来ていただけるものは何がいいかというのを、ここ1、2年ぐらいで模索を始めたところです。歌舞伎だけではなく、区外や全国から来ていただく事業ももちろん必要かと思いますが、基本的には区立の施設ですので、区民の方々がふだん着でも来ていただける、そうでなければ晴れ着を着ておいでいただける、そういったようなものを企画していきたい。それには何がいいのかなということ、模索中です。

歌舞伎もこれですとやっていって、狂言や薪能などその辺をもしやるとすれば日程の調整もしなければいけませんし、それを全部やるのかどうかということも含めて、今後検討させていただきたいと思います。

○清水理事　私も美術館等々に勤めており、企画って大変難しいのですが、やはりその施設についてお客というものがあって、現代美術なら現代美術館、古美術なら古美術の美術館というものがあり、こういう公共施設の場合、いろんなことをやらなければいけないので大変難しいと思います。何か何本か柱を立てて、例えば、古典シリーズとか、メッセージとしてわかりやすく出すということが必要かと思います。新宿文化

センターは全部古典をやりますということならわかりやすいのですが、そうではないので、シリーズというか柱というものを明確にしたら、もっと区民にわかりやすくなるのではないのでしょうか。

- 永木理事長 ただいまご意見をいただきましたとおり、我々としても大きな反省点もありますし、これから工夫していかなくてはと強く思っています。いずれにしても、文化芸術振興会議で、若者から高齢者、それから和物、バレエ、演劇等々、いろいろと幅広く区民のためになるような企画をしっかりと立てなさいということが提言の中でもありますので、私たちとしてはその提言を受けて、さらに工夫しながら頑張らなくてはと強く思っております。

今日いただいた意見を十分参考にしながら、どういうふうにしていくのか検討してまいりたいと強く思っていますので、よろしく願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、第11号議案についてご意見がなければ質疑を終了させていただきまして、原案どおり決定するということでご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

- 永木理事長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第11号は原案のとおり決定いたします。

次に、議案第12号「平成28年度事業計画及び収支予算の補正について」を議題に供させていただきます。

(資料に基づく説明省略)

- 永木理事長 それでは、議案第12号について、ご意見等がございましたらお願いします。

- 酒井理事 車椅子の昇降機は非常にいいことだと思いますが、これは460万円もするので、財団の責任で負う範疇の話なのではないでしょうか。

○諏訪管理担当事務局次長 これは、本来的にはやはり新宿区のほうに大規模修繕等
お願いすべきものと考えております。ただ、新宿文化センターワイヤーロープの修繕
で2,000万円ほどの費用をつけていただいたところで、なかなか予算がつかない状況で
した。また財団も公益認定上の費消計画で、東京都から昨年度決算で受取利息を、本
来は公益に回すべきという指摘を受けたところでした。

そのため費消計画ということで、区民への還元の1つとして、今回この車椅子の昇
降機をつけるために、区とも話し合いをして、このような形をとらせていただきまし
た。

○酒井理事 わかりました。

○清水理事 この昇降機の所有権は財団になるのですか。

○諏訪管理担当事務局次長 財団で固定資産として持つのも大変ですので、これも今後
調整予定ですが、区に寄附をしたいと考えているところです。

○永木理事長 ほかに、いかがでしょうか。

それでは、第12号議案についてご意見がなければ質疑を終了させていただきまして、
原案どおり決定するというご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○永木理事長 ありがとうございます。

異議なしと認め、議案第12号は原案のとおり決定いたします。

○永木理事長 それでは、本日の理事会はこれで閉会させていただきます。ありがとう
ございました。

<以下、報告事項等は省略>